

6月のアルミレポートおよび7月の見通し(下)

橋本アルミ(株) 橋本健一郎氏



予測レンジ

LME	現物後場買い1500-1700ドル ● 変わらず
スクラップ	0から+5円(前月最終価格より) ● 変わらず
為替	102-106円(一か月間TTM) ↑ 円高

※平成28年7月15日付紙面掲載の記事の続きです。

【アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績】

前年比+3.8%の6万708t。3カ月連続プラス
出荷は+3.7%の6万533t 3カ月連続プラス。

内 出荷先

鋳物 -5.4% ダイカスト +10.2% 板
-10.8% 押出 +2.4% 鉄鋼+6.4%
合金地金メーカー +0.9%

【アルミ圧延・押出品生産数】 +2.6% 3カ月
振りプラス 16万9795t

板類 生産、出荷とも3ヶ月ぶりにプラス(出荷
は先月の▲3.0% ⇒ +3.7%へプラスに転ず)

(1) 缶材 41,524^t(9.5%)

ボトル缶の好調継続により、7ヶ月連続でプラス。

(2) 自動車 12,554^t(6.8%)

軽自動車を除く国内乗用車生産台数は減少しているが(4月の軽を除く乗用車生産台数: 458千台、前年同月比: ▲2.4%)、

アルミパネルの需要増により、4ヶ月連続でプラス。

(3) 輸出 17,807^t(▲14.5%)

海外関連工場への素条輸出の減少により、9ヶ月連続でマイナス。

押出類 生産・出荷ともプラスに転ず(出荷は先月の▲1.5% ⇒ +4.9%へプラスに転ず)

①建設: 34,815^t(3.5%)

3ヶ月ぶりにプラスとなったが、これは前年の数字が低かったことによるもので、輸入品の増加、アルミ・樹脂複合サッシの増加等により需要は低調(4月の新設住宅着工戸数: 82,398戸、前年同月比: +9.0%)

②自動車 10,159^t(6.2%)

トラック架台の好調により、8ヶ月連続でプラス。

【輸出】

アルミ新地金が前年比 +9.8%の157t。

二次合金が+29.2%の1677t

スクラップが-7.6%の9556t

アルミ缶が+74.2%の5116t

【輸入】

アルミ新地金が前年比-8.3%の12万9389t

二次合金が+7.4%の89710t

スクラップが-38.6%の503t

合金スクラップが-42.1%の2698t

【見通し】

・自動車は生産が+1.7%。5月の国内販売台数が前年比3%

生産が2ヵ月ぶりプラス、販売が3ヵ月連続プラス。

生産が再びプラス 販売に至っては大幅増! 今後の回復が期待される。

・住宅着工の動向については、

前年同月比で5ヵ月連続の増加となっており、利用関係別にみると、前年同月比で持家、貸家、分譲住宅ともに増となった。

引き続き、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

・アルミ圧延・押出品生産数

圧延、押出共にプラスに転ず3ヵ月振りプラス
輸出は10ヵ月連続マイナス

・アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績
自動車生産の増加を受けて

増加 だが 合金メーカー向けへの出荷は微増。

住宅着工の増加を受けて押出し向け出荷が+2.4%

・輸出 内需の低迷を受けて半製品は大幅増加。スクラップは発生難から減少!

・輸入 内需の低迷や円高から減少。

世界を結ぶ循環流通サービス
原料から製品まで

Ogico OHGITANI Corporation

銅・亜鉛・鉛・錫・ニッケル・アルミ・非鉄金属全般

株式会社 扇谷

本社 大阪市西区土佐堀1丁目3番7号
Tel:06-6444-1521~1530
東京支店 東京都千代田区神田錦町3丁目15番地
Tel:03-5282-4800
名古屋支店 名古屋市中村区名駅3丁目16番22号
Tel:052-371-2005
海外 シンガポール・香港・タイ・台湾
マレーシア・フィリピン・上海・深圳・ベトナム

<http://www.ogico.co.jp>

【スクラップ需給予想】

流通在庫は。英国のEU離脱後もLMEは安定していることから、メーカーの値上げがない限り市中にできることはないのではないか？
ここ最近の自動車、住宅の生産増を考えれば更に需給のひっ迫状態は続くであろう。

【価格・為替予想】

今月は、EU離脱問題が長引き変化がなさそうな事から材料視されず米利上げ問題及び中国の金融政策に左右される。
米利上げ観測に関しては、英国のEU離脱が決定した事による世界経済の先行き不透明感から一部で利下げの観測が出始めた。
即 利下げとはいかないまでの利下げの声が大きくなる可能性は十分ある。
中国の金融政策も自国経済の低成長に加え 重要輸出先である欧州問題をうけて、追加緩和がされる可能性も十分ある
それらを踏まえた7月のアルミ価格は、米国の

利下げ観測が前進し、中国の追加緩和が行われた場合、心理的節目の1700ドルを予測。いずれかの場合は1600ドル。

下値はいずれの条件も達成できなかった場合6月安値の1500ドル。

為替は英国のEU離脱にともなう対ユーロでの円高は米利下げ観測期待から円高トレンドあるが、G7の流れを受けての介入がしにくい現状や追加的な金融緩和策が難しいことから円高が続くのではないかと

それらを踏まえ予測は

上値は日本が何らかの為替対策を結果的に一切行わず、米利下げ観測が前進した場合102円台(TTM)を予測。下値は、日本がさらなるマイナス金利策や為替介入などを行い、米利下げ観測が後退した場合、6月後半安値の106円を予測。

銅建値に関しては0~+5円程度と予測している。

亜鉛建値は1万2,000円引き上げの28万3,000円、 月内建値平均は27万5,400円。

三井金属鉱業は15日、電気亜鉛建値を1万2,000円引き上げの28万3,000円と発表し、同日から実施した。月内建値平均は27万5,400円。

15日入電のLME亜鉛相場のセツルメントが2198.00ドル、同日発表のTTSレート106.64円で換算した採算価格は23万4,300円となり、建値と採算価格から見た諸掛かりは4万8,700円となる。

直近6か月の建値推移は次の通り。(単位キロ当たり円、かつこ内は改定日)

・2016年

2月=247(1) 250(4) 244(12) 238(17)

256(23)	平均247.8
3月=250(1) 259(4) 247(9) 256(14) 250(17)	
262(23)	平均255.5
4月=253(1) 250(6) 238(11) 256(14)	
262(20)	平均254.1
5月=253(9) 256(17) 250(26)	平均253.5
6月=262(1) 268(7) 274(10) 265(15)	
256(20)	平均262.4
7月=268(1) 265(6) 271(12) 283(15)	
	平均275.4

錫建値は100円引き上げの3,300円、 月内建値平均は3,240円。

三菱マテリアルは15日、高純度錫地金(99.99% =フォーナイン)の販売価格を100円引き上げの3,300円と発表し、同日より適用した。月内建値平均は3,240円。

直近6か月の価格推移は次の通り。(円/キロ、かつこ内は平均)

・2016年

2月=3,200(1)	平均3,200円
3月=3,250(1) 3,350(8)	平均3,330円
4月=3,300(1) 3,200(11) 3,250(19)	
3,300(25)	平均3,260円
5月=3,250(2) 3,300(12) 3,200(24)	
	平均3,260円

6月=3,200(1) 3,250(13) 3,200(21)	
3,150(27)	平均3,200円
7月=3,150(1) 3,200(8) 3,300(15)	
	平均3,240円

昭和27年創業の銅線加工専門会社

■電線・ケーブル用銅線の伸線受託加工

株式会社 河南伸銅所

〒580-0045 松原市三宅西1-357-1

☎ 072-331-2545